

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ヘルプカードの推進による福祉のまちづくり
事業主体 (連絡先)	須高地域自立支援協議会 (須高地域総合支援センター)
事業区分	保健、医療及び福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	667,548 円 (うち支援金: 500,000 円)

事業内容 ヘルプカードの推進

- 障がいのある方が周囲に助けると気軽に言えるまちづくりのためのツールとしてのヘルプカードの作成をし、必要な方に配布する。
- カードを使う方、ヘルプカードのことを知っていただくためのポスター、リーフレットの作成。
- 小学校・中学校の教育の場で自立支援協議会権利擁護WGメンバーが外向いて、説明や寸劇を行って、障がい者への理解を深めてもらう。



【ヘルプカード啓発学校訪問】

【目標・ねらい】

- 障がいのある方への理解を深める。(特に小学生・中学生の低年齢層へのはたらきかけ。)
- 誰もが助け合えるまちづくりを進める。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ヘルプカードの発行
27年度3月1日より31日
- 学校での説明
27年1月から2月 4校
28年度は須高地域全小学校・中学校で実施予定
- 地域の反応
地域の分館より権利擁護の研修でヘルプカードの紹介の依頼があり、実施予定。
相談支援専門員より、当事者が電車通勤での実際の場面で、電車が停まってしまった時に困ってしまった場面があり、ヘルプカードの活用と、交通機関の理解について検討の提案があった。交通機関へ、ヘルプカードの啓発も兼ねた障がい理解の説明に訪問し、活動に対しての賛同を頂くことができた。

※自己評価【A】

【理由】

- 学校訪問の際予想以上に、児童・生徒の理解を得ることができた。
- 公共機関、地域のお店のヘルプカードに対する理解を得ることが出来、障がいのある方を支えるまちづくりに、賛同を頂けた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 福祉課の窓口やケアプランナーをつうじて、当事者の方に、ヘルプカードの情報を流していく。
- 自立支援協議会権利擁護ワーキンググループで継続した啓発活動の実施。
- 障がいのある方だけでなく高齢などの理由で支援が必要な方にも広がっていけないか、検討していく。